

ほんこはん つとめます 報恩講 厳修

十月三十一日午後二時より

十一月一日午後三時まで

10月31日(木) 午後2時より
午後6時より

午後のおつとめ
親子の集い

11月1日(金) 午前9時30分より
午後1時30分より

午前のおつとめ
まどめのお勤め

★長寿者などを対象に自宅からゴボハンへ、ゴボハンから自宅への送迎サービス(無料)を実施いたします。前もつて電話をいただければ係のものが迎えにまいります。是非ご利用ください。

お説教は 松井 勇さん(南砺市)です。
お斎は11月1日あります。

ご近所の方をお誘いの上是非足をお運びください。
住職・役員 心よいお待ち申し上げております。



Gobohan News

発行:真宗大谷派 常入寺
富山市東老田787番地
電話(076)436-0816
FAX(076)436-2766
携帯090-3764-3983
発行責任:青井和成



親子の集い



親子の集いを報恩講開催中、31日の午後6時より行います。
みんなでカレーを作って食べて、そして楽しく遊びたいとたいと計画しています。



ま
つ
て
ま
す

御 正 忌 法 要

十一月二十四日 午前の部 午前10時より
尼講退弔会 午後2時より
午後の部 引き続き 終了は午後4時を予定しています。
※ お昼に尼講の御膳付きがあります。
法話は午前の部、午後の部の後に当寺住職がいたします。

椅子をお貸しします



常入寺には参詣用にお座敷用のいすが 40 脚以上あります。ご法事の時など足の悪い方々のためにこの椅子をお貸しもさせていただきます。(但し、お寺の行事がない時) ぜひご利用ください。また皿、コップ、大鍋などもお貸しできます。貸出料は無料です。

< 御願い >

報恩講と御正忌法要を当寺で勤めさせていただきますので、

**10月30～11月1日、
11月23日は**

皆様のお宅への月参りは休止し、報恩講、御正忌法要のお勤めと併せて本堂にてお勤めさせていただきます。是非報恩講、御正忌法要にお参りください。ご理解いただきますよう御願いたします。

またどうしてもと言われる方は前もってお寺まで電話ください。日時の変更など対応させていただきます。

今年も報恩講を当寺においてもお迎えさせて頂きます。いうまでもないことですが報恩講というのは私たちが宗祖親鸞聖人のご命日を縁としてつとめる仏事です。浄土真宗の寺院において毎年勤められる仏事としては一番重たい、大事にされてきたものです。そして報恩講は、本山でも勤まりますし、別院でも末寺でも、そして御門徒で家にご本尊をお迎えしているお宅でも勤められるものです。そして基本的には毎年絶やすこと

となく勤められてきているのです。宗祖親鸞聖人は、弘長二年十一月二十八日に往生なされました。グレゴリオ暦、今使っている暦に直すと一、二、三、四年一月十六日になります。明治が始まった頃、暦が太陰暦という暦からグレゴリオ暦(今使っている暦)に変更したときから二種類の「ご命日」が存在するようになりました。東本願寺のままの十一月二十八日、西本願寺などはグレゴリオ



暦に換算した一月十六日を採用しました。そのため東西両本願寺では宗祖親鸞聖人のご命日を縁として勤める報恩講も違う日に勤めるようになったのです。決して東西両本願寺で違う親鸞聖人がそれぞれおられるのではないのです。江戸時代までは同じ日に七昼夜、今の言い方では八日間勤められていたのです。

ご先祖様、お子さん、お孫さんと共に 本堂屋根に名を刻みませんか

本堂屋根「こけら形銅板」裏書
修復中の善徳寺本堂屋根に裏書として記名(本名、又は法名)致します。

- 募集締切** 平成26年9月30日に延期になりました。
- 金額** 一枚 5,000円 (記名は1枚につき1人分です)
- 申込** 別紙の申込用紙にご記入の上、申込金を添えてお申込み下さい。
※ご不明の点がございましたら別院寺務所までお尋ねください。

問合せ

城端別院 **善徳寺** 南砺市城端405 ☎0763-62-0026 Fax0763-62-3682



本堂屋根「こけら形銅板」
サンプル写真

※記名は手書き致します。